

2 生産現地の土壌実態に即した混合堆肥複合肥料 (岡山県農林水産総合センター、三興株式会社)

- 岡山県農林水産総合センターと三興株式会社は、有機物や苦土、ホウ素の投入量が不十分な圃場での土壌改良が期待でき、かつ追肥を省ける混合堆肥複合肥料「キャベツ一発堆肥入り037」を開発。

■国内資源の種類 ■肥料の種類・肥料名称 ■取組の経緯・内容・成果（見込み）

- ・牛ふん
- ・豚ふん尿
- ・鶏ふん
- ・鶏ふん焼却灰
- ・米ぬか

- ・種類：混合堆肥複合肥料
- ・肥料名
：キャベツ一発堆肥入り037
(ペレット 15kg袋)

取組の経緯

- ・岡山県南部のキャベツ・ハクサイ産地では、土壌中の有機物や苦土、ホウ素の投入量が不十分な圃場が多い。そのため、岡山県農林水産総合センターは、土壌改良が期待でき、かつ追肥を省け、家畜ふん堆肥の有効活用と資源循環型農業の推進を図ることを目的として開発。

取組の内容

- ・牛ふん主体の家畜ふん堆肥と緩効性窒素肥料等を原料とした混合堆肥複合肥料を県と肥料メーカーが連携して開発。ペレット状に造粒することで散布しやすくなるとともに、追肥作業が省略できる。

成果

- ・年内どり作型のキャベツ、ハクサイ栽培の基肥に10a当たり250～280kg施用することにより、追肥が不要となり、高度化成肥料や有機化成肥料の分施栽培と同等の収量が得られ、さらに連用によって土壌肥沃度が向上。
- ・肥料開発時（令和元年）の開発肥料による施肥コストの試算では、慣行施肥（堆肥＋土づくり肥料＋高度化成）と比べて10a当たり約6,800円（慣行対比15%）、キャベツ1t当たり約800円（慣行対比15%）のコスト低減効果がある。

■保証成分量（%）、特徴等

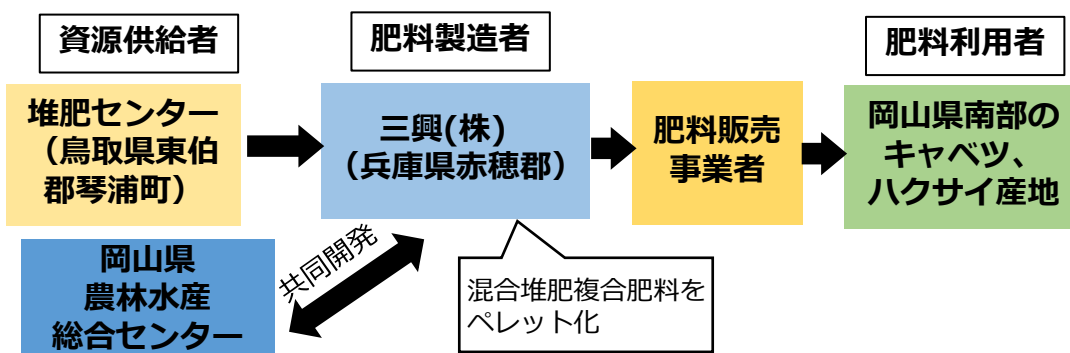
N	P	K	苦土	ホウ素
10	3	7	1	0.05

有機物供給効果をねらい牛ふん主体の堆肥を配合し、生産現地の土壌実態に即して苦土、ホウ素含量を高め、リン酸含量を少なくした成分設計とした。また、追肥を省けるように緩効性窒素肥料を配合。

■作物

- ・キャベツ
- ・ハクサイ
(年内どり型)

■主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■今後の課題・取組

- ・生産者や販売事業者へ更なる周知を行い、野菜生産における土づくり、コスト低減、省力化を推進。



キャベツ一発堆肥入り037



散布しやすいペレット状に造粒



キャベツ畑